

人文論究

第六十一巻 第一号

季 刊

一九六六(昭和四十二)年十二月二十日付 郵業第三六五号
二〇一一年(平成二十三年)五月二十日 発行
学術刊行物指定済

島崎藤村『水彩画家』論

〈海軍都市〉神戸と大日本帝国海軍の内実

大岡昇平『酸素』が描き出したもの

遠藤周作『わたしが・棄てた・女』論

作品構造から見た出合いの「痕跡」

『判断力批判』における美の自律

カルル・ローベルトと考古学的解釈学

応用行動分析学に基づく通常学級における

支援についての実践的検討

ジョルジヤンの民衆版画「ピラミッドの会戦」

欲求・願望を伝えるフランス語表現〈j'aimerais P〉

Weg zu einer, anderen Wahrheit durch die ‚epische Poesie‘

Zu einer Kulturkritik der Brüder Grimm

ベルクソンとシネマトグラフィック・イメージ

写真カードを用いた自発的要求言語行動獲得への支援

特別支援学校における重度知的障害生徒に対する指導実践

douter の機能

——「うたがう」との比較をもとに——

細川正義

尾添陽平

古浦修子

榎本庸男

加藤哲弘

馬場ちほ子

松見淳子

中谷拓士

曾我祐典

村山功光

岩城覚久

柳瑞穂

福田由美子

関西学院大学人文学会

JIMBUN RONKYU

HUMANITIES REVIEW

Vol. LXI No. 1

MAY 2011

CONTENTS

- A Study of Shimazaki Toson's "Suisaigaka"Masayoshi HOSOKAWA
"A Naval City" Kôbe and Imperial Japanese Navy's Fact:
To Delineate OOOKA Shôhei's "Sanso"Yôhei OZOE
A Study of "The Girl I Left Behind" by Shusaku Endo: The Traces
of an Encounter Viewed from the Textual StructureShuko KOURA
———— * ———— * ———— * ————
Autonomie des Schönen
in Kants Kritik der Urteilskraft.....Tsuneo ENOMOTO
Carl Robert and the Archaeological HermeneuticsTetsuhiro KATO
Special Education Support Based on Applied Behavior Analysis
in Regular ClassroomsChiharu BABA
Junko TANAKA-MATSUMI
Image d'Epinal représentant la Bataille des
Pyramides gravée par François GeorinNAKATANI Hiroshi
La formule désidérative française *j'aimerais P*SOGA Yusuke
Weg zu einer ,anderen Wahrheit' durch die ,epische Poesie'
— Zu einer Kulturkritik der Brüder Grimm —Isamitsu MURAYAMA
Bergson and Cinematographic ImageAkihisa IWAKI
Support to the Spontaneous Demand
Behavior Acquisition by Picture Cards
— Practical Teaching for a Student with Severe Mental
Disabilities in the Special Support School —YANAGI Mizuho
Le fonctionnement du verbe *douter*
— à la lumière d'une comparaison avec
le verbe japonais *utagau* —FUKUDA Yumiko
-

Published Quarterly

by

**THE SOCIETY OF HUMANITIES
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY**

Nishinomiya, Japan

前 号 目 次

西鶴と西宮えびす……………森 田 雅 也

——西鶴説話の生成方法への一考察——

—————*—————*—————*

空間的注意によって生じる主観的な視知覚の変化……………片 杉 山 本 順 史 一 恵

「嗜癖」とは何か……………中 村 健 春 一 香

——その現代的意義を歴史的経緯から探る——

大学における発達障害者支援の課題……………米 山 直 樹

イギリス小説に見る土地の霊……………森 藤 真 成

——最終講義に代えて——

ヒトにおけるセルフコントロール選択の推移……………岩 橋 瞳

——能動的・受動的反応を要する刺激提示の効果の比較——

人文論究執筆規定

1. 執筆資格

- (1) 人文学会規約第二条に該当する会員。
- (2) 次の場合は、編集委員会の議を経て執筆を認める。
 - イ. 文学部の名誉教授並びに客員教授。
 - ロ. 文学研究科の大学院生並びに研究員(但し(1)項の会員の推薦あるもの)。
 - ハ. 編集委員会が上記イ・ロと同等と認めたもの。

2. 執筆内容

- (1) 種類は、論文・研究ノート等。
- (2) 枚数は原則として50枚(400字詰原稿用紙換算、図表・註を含む)以内とする。
図表・註は刷り上り時の大きさを勘案して字数に換算する。
外国語で書かれた論文の場合はA4判用紙(62字×27行)で原則として25枚以内とする。
- (3) 原稿は縦書き、横書きのいずれでも可とする。
- (4) タイトルは和文・欧文の両方をつける。
- (5) 和文の論文には外国語のレジュメ(欧文150から200語相当)、外国語の論文には和文のレジュメ(600から800字程度)をつけることができる。
なお、レジュメは、各論文の最後の部分につけるものとする。
- (6) 執筆者名の欧文表記は次の例に従う(例: Akira OGAWA または OGAWA Akira)。

3. 採 否

原稿の採否は、編集委員会が決定する。

4. 著作権・公開の確認

本誌に掲載された論文・研究ノート等の著作権は著者に帰属するものとする。ただし、人文学会は、本誌に掲載された論文・研究ノート等を電子化または複製の形態などで公開する権利を有するものとする。執筆者はこれに同意して、投稿することとする。もし、やむなき事情により、電子化または複製による公開について、承諾できない場合は、採用が決定した段階で人文学会に申し出ることとする。その場合は、申し出のあった該当箇所のみを削除し、公開するものとする。

2009年6月3日

関西学院大学人文学会

二〇一一年五月十五日 印刷 二〇一二年五月二十日 発行		人文論究 第三卷 第一号		編集兼 発行者 田 和 正 孝	発行所 関西学院大学人文学会 〒六六二-八五〇一 西宮市上ヶ原一番町一―一五五 (〇七九) 五四一六二〇一	印刷所 協和印刷株式会社 〒六一五-〇〇五二 京都市右京区西院清水町一三 (〇七五) 三二一四〇一三	注 文 規 定 御注文は前金にて関西学院大学人文学会 へお願い致します。	一 年 分 送料共二、五〇〇円
--------------------------------	--	--------------	--	-----------------------	---	--	--	-----------------